



# 壱岐高便り

第132号

発行責任者  
山口 千樹



携帯  
サイトへ

長崎県立壱岐高等学校

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL] 0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

## 巻頭言

# 兆 し

校長 山口 千樹



2学期前半はイベントが目白押しでしたが、生徒諸君が全力で取り組んでいた姿は、壱岐高校がさらに飛躍する兆しではないかと感じています。

さて、この10月に、郷ノ浦港の近くにあるビューホテル壱岐の先に「春一番のモニュメント」が完成しました。このモニュメントは、55（5×11）枚の陶板で構成されており、突然の大風に翻弄される船と、雲間から射す光を指さす漁師の絵が描かれています。この原画は、本校美術部の生徒諸君が考案し、顧問の桑野先生が指導されたものです。

私はこれを見て、遭難をあつかった「メデューズ号の筏」（ジェリコ作）という絵を思い出しました。名作ですが、私はそれを見たときは悲しみや苦しみしか感じることができませんでした。

しかし、このモニュメントに描かれている三筋の光は、回復する天気の兆しであり、明るさを感じます。厳しい現実の中にあっても、希望を失わない高校生らしい作品です。

ぜひ、生徒や保護者の皆さんにも見に行ってくださいと思います。そして、このような作品が生まれる本校に起こるであろう、何かの兆しを感じてください。



快挙!

## 大久保未里さん 県展（洋画部門）入選

第61回長崎県美術展覧会（県展）において、本校3年生、美術部の大久保未里さんが洋画部門で入選しました。

県展は高校生以上の一般の人々に広く公募され、デザイナーや美術教師も数多く応募する県内随一の公募展です。半分以上の作品が落選する難関に、本市からは高校生で唯一入選しました。

水彩画での入選は非常に難しいといわれる中での入選に、顧問の桑野先生は「青を基調として、雨が上がる兆しが見える石田町の空を繊細に描き出したところが審査員に高く評価されたのだろう。」と語っていました。



大久保さんは「こんな大きな大会で入選できたことはとてもうれしいです。水彩画の良さは濃淡が自在に作れ、重ね塗りで深い味わいを生み出すことができることです。私は空を描くのが好きですが、水彩の淡い色調はそれにとってもマッチしていると思い制作しました。今後は水彩だけでなく、油絵やペン画、デジタルイラストなど、いろんな画材に挑戦して、自分の絵の幅を広げていきたいです。」と語っていました。

なお、入選作品は11月から校内に展示される予定です。

## 第 3 学 年 よ り

10月7日にセンター100日前集会が行



われました。受験予定の生徒達は、代表生徒の決意表明やこの時期を乗り切るアドバイスを受け、決意を新

たに自らの進路実現に向けて一層熱心に自学や質問に取り組んでいます。また、公務員試験もほぼ終了し、私立大学・短大、専門学校及び国公立大学の推薦入試の出願が進められているところ。公募推薦の指導では、学年を越えて他学年の先生方にもご協力いただき、全職員で面接指導・小論指導等に取り組んでいます。

この時期は、同じ学校の中で進路決定者と追い込みを迎える生徒が混在する時でもあります。それぞれが今何をすべきかを真剣に考え、行動に移してほしいと思います。ご家庭でも普段通りに接しつつ、生徒の変化に注意していただきながら、生徒への激励をよろしくお願いいたします。

## 第 2 学 年 よ り

暑かった夏が終わり、冬に向かって加速しているように感じる今日この頃になりました。杏岐の秋はあっという間に過ぎ去っていきます。秋は学習や部活動、読書などに全力

で取り組み、文武両道を体現して欲しい時です。

その一方で、一生懸命打ち込むあまり、現状に悩む生徒のことが心配です。それはごく自然なことで、学年でも学習や部活動に悩む生徒がいるようです。学級担任や部活動顧問が随時面談をしておりますが、気になられることはいつでも連絡してください。学校側も必要に応じて連絡させていただきます。生徒・保護者・学校が一体となって、この秋を充実したものにしていきたいと思います。

## 第 1 学 年 よ り

随分秋らしく過ごしやすくなりました。10月には中間考査と2回目の対外実力試験もあり、生徒たちはいつも忙しく学校生活を送っています。

今年度も残りはあと5か月、定期考査はあと2回となりました。そこで、特に学習に関してはますますの努力を期待します。日々の課題への取組を大切に、そのために生活や勉強時間を捻出する工夫を心掛けさせてください。

また、1学期に比べ、欠席や遅刻・早退をする生徒が増えてきています。皆が将来の目標を持ち、進路実現のために入学したはずですが、悪い方向に慣れが進んでいませんか。それぞれのご家庭で進路について認識を深めるなどして、気持ちをあらたにし、是非実り多き秋となるよう、これからも生徒たちへの励ましをよろしくお願いいたします。

## 東アジア歴史・中国語 コース



10月8日(土)、原の辻ガイダンスにて、古代米作り体験(刈り入れ祭)が行われ、東アジア歴史・中国語コース1、2年生が参加しました。

刈り入れ祭では、弥生時代に実際に使用された石包丁を用いて、穂首刈り体験を行いました。初めて参加した1年生は、初めは戸惑いながらも石包丁の使い方を2年生に教えてもらい、真剣に活動に取り組みまし

た。刈り入れ体験の後は、千歯扱きを用いた脱穀体験、そして昨年取れた古代米を用いた食事をいただくなどして、古代人の暮らしに想いをはせながら活動を行うことができました。



## 壱岐高Topics!

### 「萩原有未先生

#### いわて国体（なぎなた競技）奮戦記」

10月2日（日）～、岩手県で開催された、第71回国民体育大会に出場しました。

約1年ぶりの大会出場に、正直不安しかありませんでした。団体戦の相手は、来年度国体を控える愛媛県。結果は、1-2で初戦敗退。大将で試合が回ってきた時、すでにチームは2敗、敗退が決まっていました。

しかし、岩手まで来て負けて帰るわけにはいかない。ここで負けたら大将として情けない。勝つしかない。そういう思いでコートに向かいました。3分で勝負がつかず、2分間の延長に突入。延長も終盤を迎え、あと1本に懸け、相手の隙を狙う。イメージ通りの技を出した直後、「スネあり。」その瞬間、「あっ、勝った。よかった～。安心して壱岐に帰れる。」終わった時の率直な気持ちでした。

久しぶりの試合で、なぎなたの楽しさを再認識することができました。応援ありがとうございました。



### 「長崎県高文連弁論大会」

10月13日（木）に青雲高校で行われた長崎県高文連弁論大会に本校2年のの中尾美穂さん、1年の長島蓮梨さんが出場し、24名中、中尾さんが2位、長島さんが4位に入賞しました。

中尾さんは11月17日（木）18日（金）に大分で開催される九州大会に出場することになりました。さらなる健闘を期待しています。

## 11月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

1	火	
2	水	創立記念日 県高校駅伝 大学別オープン模試③
3	木	【文化の日】
4	金	
5	土	進研・駿台共催マーク模試③ 第2回コース体験入学
6	日	進研・駿台共催マーク模試③ 第2回英検二次
7	月	
8	火	駐日外交団との交流会
9	水	
10	木	LHR(高総体駅伝報告会 校内駅伝大会閉会式
11	金	県高総文祭
12	土	
13	日	
14	月	生徒評議委員会 保育実習(1-5)
15	火	進路ガイダンス①②保育実習(1-1)
16	水	
17	木	LHR(薬物乱用防止講話)
18	金	
19	土	センター試験プレテスト(河合塾)③
20	日	センター試験プレテスト(河合塾)③ 中国語スピコン②③(京都)
21	月	保育実習(1-4)
22	火	保育実習(1-2)
23	水	勤労感謝の日
24	木	LHR(第2回生徒総会) 考査時間割発表
25	金	
26	土	
27	日	中国語検定①②③
28	月	模試代金納入②(分割) 保育実習(1-6)
29	火	模試代金納入①(分割) 保育実習(1-3)
30	水	

## 進路指導部 より



10月7日(金)、センター試験100日前集会を実施しました。山口校長、米谷学年主任、濱栗進路主任の激励の後、生徒を代

表して3年1組の吉福歩華さんが決意表明を行いました。「わからないことはわかるまで努力する。当たり前のことを当たり前にする」と力強く述べてくれました。

現行の大学入試センター試験も3年後をめどに廃止が予定され、入試制度が変革期を迎えていると感じます。現在はAO・推薦入試でのみ課せられている志望理由書(自己推薦書)が一般入試でも必要となる可能性があります。いずれにしろ、進学、就職を問わず明確な志望理由が合格への大きなモチベーションとなることは言うまでもありません。

3年生は少しずつ、合格通知を受け取る生徒が出てきました。それは喜ばしいことではありますが、推薦入試のピークは11月、一般入試は1月～3月まで続き



ます。受験を控えた人が必死に頑張るのはもちろんですが、既に合格した人にこそ、しっかりと学習してもらいたいものです。合格した人が頑張り続ける姿が、周囲への最大の励みにもなるのです。

## 生徒指導部 より

秋の深まりとともに朝晩冷え込むようになり、各自の体調に合わせ「衣替え」を行う生徒が増えてきました。男子は「制服から下着が出ない」女子は「セーターの裾は折り曲げる」など正しく着こなすようにして下さい。

さて、今年度は10月28日(金)に、第63回校内駅伝大会を開催します。開催にあたり、PTA健全育成委員の皆様には、交通整理員としてご協力いただけることに深く感謝申し上げます。並びに、保護者・地域の皆様からの暖かいご声援よろしくお願ひします。応援の方法についてですが、自家用車による伴走(レース中に選手の列を追い越して移動する)については、くれぐれもご遠慮いただきますようお願いいたします。警察から厳しい指導がっており、今後、道路使用の許可が下りない場合もあります。生徒たちが選手・応援・係などで全力を尽くせるようご協力をお願いいたします。

## Kayla's double double time (ALT ケイラ先生のコラムです)

I have been blessed with the wonderful opportunity to teach as an assistant language teacher in the high schools on Iki Island. This is my first time in Japan and I am having so much fun getting to know the people, the language and the island life.

I am from Toronto, Canada and have studied Music and Biology at York University. I volunteered in high school classrooms while completing my undergraduate studies until I got into teachers collage at Queen's University, in Kingston, Ontario. Before coming to Japan I received my teacher's certificate. It is my dream to teach and to continue learning about the world around me. That's why I've come to Japan, to teach English.

I hope to improve my Japanese language skills while I'm here, and to participate in the traditional cultural events and arts that Japan is well known for. I can't wait to go to festivals and to see more of the island life on Iki.

In Canada, I like to go to historical sites, camping at the many provincial parks Ontario has to offer and hike! I hope to do many of the same things in Japan. I've heard Japan has many historical wonders and beautiful forests.

Teaching English is a main priority though. I hope I can make fun and engaging lessons for the students on Iki and I hope to help them improve their English, so that they can get wonderful jobs where ever they are in Japan. I also hope to host some English movie nights! The best way to learn is to use the language, just like I hope to do when learning Japanese. The students should do the same when learning English.

Here's to a fun and successful year on Iki! Thank you for the warm welcome!

